



## ポーラ、国際女性デーに 世界で困難な状況にある 女性と少女のための支援活動を開始

株式会社ポーラ（本社：東京都品川区、社長：及川美紀）は、2021年3月8日の国際女性デーより、女性や地域の可能性を広げるための様々な取り組みを開始いたします。ポーラは誰もが自分の可能性を諦めず、主体的な選択をし、自分らしく生きることができる社会を目指しています。

### ■寄付活動

世界中に笑顔が広がることを願い、シワ改善のパイオニア「リンクルショット」ブランド全製品の3月売上の一部を、女性支援団体へ寄付いたします。寄付金は世界で困難な状況にある女性と少女のための支援活動に役立てられます。ポーラは創業以来、女性の力を信じ、可能性を広げ、女性の生き方を応援してきました。今回は、地域格差や様々な壁により可能性が閉ざされてしまっている女性たちが、これから主体的選択で自分らしく生きていくための一助となれたらという想いで、寄付活動を決めました。

### ■全国の地域で活躍するビジネスリーダーを公式HPにて紹介

ポーラには、全国の各地域で、ポーラショップを経営する責任者が約3,800名、複数のショップを取りまとめ年商1億円以上のグループをマネジメントする最上位職を担うグランドオーナーが175名、ビジネスリーダーとして活躍しています。オーナーは自らの主体的な選択により自分の可能性を広げ、美容の仕事にとどまらず、地域活性化のために様々な活動を行っています。今回は、中でも積極的に地域を盛り上げ地方創生に貢献しているオーナーの活動を3月8日より、ポーラのホームページにて順次紹介いたします。

URL：[http://www.pola.co.jp/special/international\\_womens\\_day\\_2021](http://www.pola.co.jp/special/international_womens_day_2021)

ポーラは昨年6月、私と社会の可能性を信じられるつながりであふれる社会を目指すサステナビリティ方針を策定し、2029年までのSDGsの目標数値を設定しました。そして本年、ポーラは新たに2029年ビジョンに向けた行動指針を、「We Care More. 世界を変える、心づかいを。」と決めました。

**We Care More.**  
世界を変える、心づかいを。

妻の荒れた手を治したい。  
その想いから、創業者・鈴木忍は独学でハンドクリームをつくりました。

人から人へ、最良のものを届ける。  
それが、私たちの始まりであり、すべてです。  
今でも、ビューティーディレクターという独自のネットワークに息づいている。  
美容はもちろん、あらゆる領域において。  
私たちは、すべてのお客さまに寄り添っていく。  
一人ひとりの可能性をどこまでも拡張するために。

We Care More. それが、私たちの新しい約束。

人、社会、地球。そのすべてを「ケア」していく。世界を変える、心づかいを届ける。  
美容と健康のための製品やサービスを今までのやり方にとらわれずに探し続ける。  
多様性の尊さを守りながら。地域の個性を愛しながら。サステナブルな方法を選びながら。  
Science. Art. Love. をもういちど実践しながら。ないものは、つくる。その覚悟とともに。

2020年。これまでの当たり前は、当たり前ではなくなった。  
だからこそ、いちばん大切なものを見つめ直すとき。  
人から人へ。その価値は、決して変わらない。ただの原点回帰ではなく、原点進化へ。  
世界を変える、心づかいを。一人ひとりのPOLAから。

#### 【報道関係からのお問い合わせ先】

株式会社 ポーラ ブランドクリエイティブ部 〒141-8523 品川区西五反田2-2-3  
TEL：03-3494-7119 FAX：03-3494-6198

#### 【お客さまからのお問い合わせ先】

ポーラお客さま相談室（フリーダイヤル）TEL 0120-117111

## トップメッセージ



“元始女性は太陽であった。  
真正の人であった。今、女性は月である。  
他に依って生き、他の光によって輝く、  
病人のやうな青白い顔の月である。”

1911年の女性解放運動家・平塚らいてうの言葉です。  
110年後の今。改めて、私は、この言葉を届けたいのです。  
今、日本の女性は太陽でしょうか。それとも月でしょうか。

国際女性デーの今日、POLAは新聞広告を掲載しました。  
そこには、こんな想いを込めています。  
自分の意志で道を拓く、「主体的選択」をできる女性を増やしたい。  
そして、みなさんと一緒に創りたい。  
「自分と社会の可能性を信じられる、つながりであふれた社会」を。

ポーラ 代表取締役社長 及川美紀（竹永美紀）

## 【ポーラ 2029年 サステナビリティ方針 目標】

### 社会 ジェンダー、年齢、地域格差、様々な「壁」の解消



- ①地域起業オーナー数：月商500万円以上のショップオーナー※を1,200人まで増やし、組織力が高い組織を拡大する。
- ②地方自治体（NPO・NGO含む）との協業件数：28件。協業から生まれる新しい価値を地域に還元。
- ③地域の中でロールモデルとして認知されるショップオーナーの数：110人。



- ①女性管理職比率：総合職従業員の男女比率と同等にする。
- ②美容職のダイバーシティの推進：ジェンダーのみならず、障害者・グローバル対応を推進する。
- ③育児取得率：男性・女性ともに、100%取得。



事業としての協業の拡大：全国協業実施へ。

### 経済 多様な人が、健康に、イキイキと活躍する機会の創出



- ①健康事由での退職者を限りなくゼロへ：がん罹患による退職者 0人
- ②アピランスケアを理解し、各ショップ・コーナーの責任者または主力ビューティーディレクター※・ビューティーコーディネーター※が適切にアドバイスできる状態にする。
- ③ビジネスパートナーの健康診断受診率：80%へ。段階的に受診率や再診率を上げる。



- ①60歳以上のビューティーディレクターの数を増やす。（2019年12月現在：合計 11,894名）
- ②疾病・子育て・介護等で時間に制約がある人も働きやすい体制を整える。自由で自分らしい働き方を提供する  
ことで、一人ひとりが高いパフォーマンスを発揮し、生産性・創造性の向上を目指す。



外部パートナーとの連携や、働き方改革から、新しい価値を創出。

### 環境 未来に、次世代に環境をつなぐアクション



- ①スコープ1・2でCO2排出量を26%にする。
- ②お客さまへの新たな価値提供の実現を前提としながら、同時に、環境に配慮したサービスを提供する。



RSPO認証パーム油使用率：100%

※ショップオーナー：全国の地域でポーラショップを経営するオーナー

※ビューティーコーディネーター：百貨店ポーラコーナーで、カウンセリングをはじめとした美容を通じてお客さまの  
ありたい姿を引き出し価値を提案する、プロフェッショナルな販売員。



FAIRY JAPAN

POLA

ポーラは、新体操ナショナル選抜団体チーム・新体操個人日本代表「フェアリー ジャパン POLA」の  
オフィシャルパートナーです。

POLA